

令和2年度

# 外部行政評価報告書

(評価対象：令和元年度事務事業)

令和2年9月

にかほ市外部行政評価委員会

## 外部行政評価委員会の審査概要と総評

令和2年度のかほ市外部行政評価委員会は、令和2年8月20日から9月2日まで計3回開かれ、令和元年度事務事業の中から6事業を評価したので、その審査概要を報告するとともに総評を述べる。

まず初めに、未曾有の事態を招いている新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本委員会も少なからず影響をうけた。本市において、感染者は現在のところ発生していないが、会議の開催にあたっては、開催時期、委員の選定方法、運営方法等について事務局において検討が行われた（詳細は後述のとおり）。年度の途中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、事業の縮小やイベントの中止・縮小などがあり、担当されている方々も大変苦勞されたと思う。令和2年度も同様の影響が考えられるので事業の執行に当たっては細心の注意を払ってほしい。

評価は例年どおりA、B、C、Dの4段階で行い、A評価6件中5件、B評価が1件となり、いずれにしても事業は継続していくという評価であった。A評価ではあっても、いろいろな意見を付されたものがほとんどであり、さらなる改善の上、事業を継続してほしい。評価に一喜一憂せず着実に事業を進めてほしい。

市民の代表である8名の委員からは、それぞれの事業に対して多くの質問や意見が出されたが、質問や意見を通じて市が行う事業をより良くするため、あるいは市民がかほ市に住みやすくするための意見や質問なので真摯に受け止めてほしい。

市民に対する行政サービス、事業効果を考え、部門を横断して業務に取り組み、常に業務改善に重点を置きながら進めてほしい。

今回外部評価を行ったのは6事業のみで全事業から見るとほんの一部であり、内部での評価をきちんと行い、常に原点に立ち戻って事業を執行してほしいし、他の事業にも水平展開してほしい。

一般に物事を進めるうえでPDCAサイクルを回すことが行われているが、市の行政でも同様に考えて実行してほしい。また、外部評価で出された意見がその後の事業において適正に反映されているのか分かるようにしてほしい。

今後の行財政運営が市民の視点に立った成果重視型行政の確立という外部行政評価の目的を理解し、いっそう効率的かつ効果的な施策を展開されることを期待する。地方創生や総合戦略に基づいた事業など、今後にかほ市が取り組むべき課題は多いが、適宜外部の力も借りながら、にかほ市約2万4千人の住民が安心して暮らせるまちづくりを推進してほしい。

令和2年9月15日

にかほ市外部行政評価委員会

委員長 小笠原 正

副委員長 須田 祥治

委員 大橋 次雄

須田 彰子

渡部 幸悦

にかほ市観光協会

兵藤 彩乃

にかほ市社会福祉協議会

三浦 佳津子

北都銀行象潟支店

樋口 優希

## ●会議の開催経過

会 議	日時・場所	内 容
第1回会議	令和2年8月20日(木) にかほ市役所 象潟庁舎 大会議室	評価作業(2事業) 商工政策課
第2回会議	令和2年8月26日(水) にかほ市役所 象潟庁舎 大会議室	評価作業(2事業) 防災課 まちづくり推進課
第3回会議	令和2年9月2日(水) にかほ市役所 象潟庁舎 大会議室	評価作業(2事業) 健康推進課 子育て支援課

## ●評価対象に選定された事業(評価)

- ① 企業人材育成支援事業(働く女性活躍推進)・・・・・・・・・・商工政策課(A)
- ② 外国人材活用事業・・・・・・・・・・商工政策課(A)
- ③ 社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)・・・防災課(A)
- ④ 生活バス路線運行費補助金・・・・・・・・・・まちづくり推進課(B)
- ⑤ 利用者支援事業(母子保健型)・・・・・・・・・・健康推進課(A)
- ⑥ にこにこ子育て応援事業・・・・・・・・・・子育て支援課(A)

## ●評価の区分

評価は、次に示す4区分によるものとし、意見や提言等を付すものとした。

- 評価A 現状の水準(比較的簡易な見直しを含む)で事業を実施
- 評価B 見直しのうえで実施
- 評価C 根本的見直しが必要
- 評価D 事業の休止または廃止

## ●新型コロナウイルス感染症対策

### (1) 開催時期について

昨年度より6月頃の開催を慣例とすることとしていたが、今回は8月以降の開催となった。年度当初から開催の目途を立てられずにいたものの、秋田県においては4月14日に16例目の感染者が確認されて以降、しばらくの間、新規感染者が発生しなかったことから、6月に開催方針を決定し、各委員の日程調整の結果、前述の期間で開催することとなった。

しかし、7月25日、26日に秋田市において相次いで感染者が確認され、8月7日にはJR東日本秋田支社バスケットボール部の関係者等14名が感染し、秋田県で初めてのクラスター（集団感染）が発生した。これらを受け、にかほ市新型コロナウイルス感染症対策本部では、8月1日から緩和する予定であったイベント等（会議含む）の開催基準について、制限を継続するものとした。この基準では、①屋内におけるイベント等は、「5,000人又は収容人数の50%（いずれか少ない方）を上限」とし、②来庁者の制限については、「8月6日（木）以降は、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県からの来庁は、原則として遠慮していただく。また、愛知県、大阪府、福岡県など感染拡大が続いている地域からの来庁は、真にやむを得ない場合を除き避けてもらうようお願いする。」とされた。これらに対し、①については、象潟庁舎大会議室（収容人数100人程度）を使用すること、②については、委員全員が市民であることから、対策本部の基準を満たすことができるため、予定どおり会議を開催することとした。

### (2) 委員の選定方法について

今回は、3密対策の徹底、新しい生活様式の導入が求められることから、会議時間の短縮が必要と考え、事業評価の前に行っている行政評価についての説明等を省略するため、昨年度の委員に継続就任をお願いすることとし、結果として8名の方に就任していただくこととなった。なお、公募市民については、応募がなかったものである。

### (3) 運営方法等について

3密対策、新しい生活様式の導入の具体的な方法として、会議出席者の会議中のマスクの着用、ソーシャルディスタンス確保のための座席配置、消毒液の設置、換気のため会議中の会場ドアの解放を行った。

さらに、例年、1回の会議で3事業を評価し、会議時間は2時間半から3時間程度要していたものを、今回は1回あたり2事業とし、1時間半以内を目標とした。会議日数についても4日間から3日間に短縮し、評価事業数は10事業から6事業とした。

結果として、会議時間は、第1回：1時間50分、第2回：1時間40分、第3回：1時間15分となり、概ね目標を達成できた。

## 市行政評価推進チームが示した35事業

### 令和元年度事業

事業No.	基本方針	重点目標	事業名	事業の概要	課・班名 (R元年度)
1	1. 快適に暮らせるまち	①災害に強いまちづくり	社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)	集会施設の耐震設計等及び耐震改修に係る経費に対する補助金の交付。	防災課 危機管理班
		②安全・安心なまちづくり			
2	1. 快適に暮らせるまち	③人にやさしいまちづくり	障害者交通費助成事業	在宅障害者(児)の通院、通所等に必要の交通費の一部を市が独自に助成する。	福祉課 福祉班
3			重度障害者移送費給付事業	在宅重度障害者(児)に対して、タクシーの小型車初乗運賃相当額(基本料金)として利用できるタクシー利用券を交付する。	福祉課 福祉班
4		④心と体の健康づくり	人間ドック助成事業	40、50、60歳は検査費用の半額、それ以外は10,000円を助成する。	健康推進課 保健班(仁賀保健センター)
5			特定健康診査事業	メタボリックシンドローム対象者、予備軍対象者に対して保健指導を実施。	市民課 国保年金班
6			精神保健事業	心の健康づくり事業 自殺予防事業	健康推進課 保健班(仁賀保健センター)
		⑤環境にやさしいまちづくり			
7	1. 快適に暮らせるまち	⑥交通ネットワークの整備	生活バス路線運行費補助金	羽後交通(株)の事業者赤字欠損額に対する補助。	まちづくり推進課 連携推進班
8			公共交通活性化事業	羽後交通小砂川線利用者が、コミュニティバスと同様に1運行あたり200円で乗車できる乗車券を発売。	まちづくり推進課 連携推進班
	⑦快適な生活環境づくり				
9	2. 子育てしやすいまち	①若い世代の希望実現	【新規】利用者支援事業(母子保健型)	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。	健康推進課 保健班(金浦保健センター)
10			フッ化物洗口事業	保育所、幼稚園の年長児及び小中学生に対して、フッ化物洗口を実施する。	健康推進課 保健班(金浦保健センター)
11			任意予防接種事業	小児を対象に、インフルエンザ、ロタウイルスの要望接種を実施する。	健康推進課 保健班(金浦保健センター)
12		②子育て環境の充実	福祉医療費助成事業	対象者の医療費の自己負担分、及び入院時食事療養費の1/2を助成する。	市民課 国保年金班

13			<b>【新規】</b> にこにこ子育て応援事業	新たに出生した児童に係る経費について助成する。助成率:10割(上限1万円/人)	子育て長寿支援課 子育て支援班
		③知・徳・体の調和のとれた子どもの育成			
14	3. 高齢者が元気なまち	①高齢者の生活支援	地域支援事業	介護予防・日常生活支援総合事業	地域包括支援センター 地域包括支援班
15			包括的支援事業	・包括的・継続的ケアマネジメントの実施。 ・「地域ケア会議」の推進 ・在宅医療・介護連携推進事業 ・認知症総合支援事業 ・生活支援体制整備事業	地域包括支援センター 地域包括支援班
16			地域支援事業「任意事業」	・介護給付費等費用適正化事業 ・家族介護支援事業 ・見守りネットワーク形成事業(配食サービス) ・住宅改修支援事業 ・認知症サポーター養成事業	地域包括支援センター 地域包括支援班
17			指定居宅介護支援事業所業務	要支援1、2認定者のケアマネジメント。	地域包括支援センター 地域包括支援班
18	4. 若者に魅力のあるまち	①地元定着の推進	<b>【新規】</b> 企業人材育成支援事業(働く女性活躍推進)	女性就業者が活躍し続けられる職場環境の構築と意識醸成を図る。	商工政策課 ふるさと創造班
19			<b>【新規】</b> 企業人材確保支援事業	求職者と市内企業とのマッチングの機会や、企業の採用スキルの向上を図るセミナー等を開催する。	商工政策課 ふるさと創造班
20			Aターン就職促進交通費等助成事業	Aターン就職面接会や秋田県合同就職面接会等に参加する市内企業、及び市内企業との採用面接やインターシップに参加するUターン等希望者に対し、交通費等の一部を助成する。	商工政策課 ふるさと創造班
21			②にかほの魅力発信	空き家仲介手数料助成事業	空き家バンク登録物件の売買又は賃貸借成約時に必要となる仲介手数料の一部を助成。
22			<b>【新規】</b> 空き家家財道具等処分費助成事業	空き家バンク登録物件の売買成約に係る家財道具等の処分に要する費用の一部を助成。	商工政策課 ふるさと創造班
23			お試し移住体験事業参加費等助成事業	本市への移住を検討している者に対して、お試し移住体験事業の参加に要する費用の一部を助成する。	商工政策課 ふるさと創造班
24			定住奨励金事業	住宅を取得した転入者に対して、奨励金等を交付する。	商工政策課 ふるさと創造班

25			<b>【新規】</b> 若者夫婦・子育て世帯空き家購入奨励金事業	空き家情報バンクに登録された市内の空き家物件を購入した対象世帯に奨励金を交付する。	商工政策課 ふるさと創造班
26			<b>【新規】</b> 移住支援事業	東京圏から移住し、市内の対象企業等に就職した方に、秋田県と共同で支援金を交付する。	商工政策課 ふるさと創造班
	5.人と文化が豊かなまち				
	6.稼ぐ力が強いまち	①稼ぐ農林業の育成			
		②資源を活用した水産業の振興			
		③魅力ある商店街づくり			
27		④魅力ある企業づくり	認証取得支援事業	航空機や自動車産業等の成長分野での取引拡大を目的として、国際的な認証の取得に取り組む中小企業者を支援する。	商工政策課 商工振興班
28			ポータルサイト用企業データの収集及びガイドブックの作成	移住ポータルサイト「にかほ一む」用のデータ収集及び求職者向け・企業向けガイドブックを作成。	商工政策課 ふるさと創造班
29			マッチング支援事業	市内企業の展示商談会等への参加支援、及びマッチングコーディネーターによる発注企業と市内受注企業の橋渡し。	商工政策課 商工振興班
30			商業・サービス業設備投資支援事業の拡充支援	革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助事業に採択され、小規模事業者持続化補助金等に申請（不採択）となった事業者に対して上乗せ補助する。	商工政策課 商工振興班
31			製造業IoT研修事業	IoTを活用し、これからも持続的に発展を続けるため必要な課題発見や、効率的な製品づくりにつながる研修を実施することにより、更なる地域産業の振興を目指す。	商工政策課 商工振興班
32			<b>【新規】</b> 外国人材活用事業	外国人技能実習生に対する生活支援としての交流会並びに受入れ先企業に対する情報交換会及びセミナーの開催、ベトナム社会主義共和国視察支援。	商工政策課 商工振興班
33			<b>【新規】</b> 企業誘致職員派遣事業	市職員1名を、秋田県産業労働部産業集積課へ「企業誘致実務研修生」として派遣。	商工政策課 商工振興班
		⑤自然と文化を融合した観光振興			
	7. 市民と行政が協働でつながるまち	①活力あるコミュニティづくり			
34		②地域内外の交流・連携	地域間交流事業	主に首都圏に在住する本市出身者が集う「にかほ市ふるさと会」開催への助成、並びに役員会を含む運営支援。	まちづくり推進課 連携推進班



35			国際交流事業	にかほ市国際交流協会の活動を支援する。	まちづくり推進課 連携推進班
		③効率的な行 財政運営			

※ 太字の6事業が外部評価事業

《令和2年8月20日(木) 第1回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
1	商工政策課	企業人材育成支援事業(働く女性活躍推進)	民間委託

事務事業の概要	事業内容	女性就業者が、結婚、出産、子育てなど様々なライフステージにおいて離職することなく、ワークライフバランスの取り組みの推進により活躍し続けられる職場環境の構築と意識醸成を図る。
	事業の対象	女性就業者、市内企業経営者
	活動内容	女性就業者等を対象とした「女性就業者研修」の開催、企業経営者等を対象とした「女性の職場環境改善セミナー」、「若者・子育てサポート環境先進企業視察」等の実施。
	目的・成果	事業所においてワークライフバランスの取り組みの推進により女性就業者が活躍し続けられる職場環境の構築と意識醸成を図る。このことにより人材の定着を図り企業力強化につなげる。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く女性を支援する事業は非常に重要</li> <li>・参加募集方法を根本的に見直す必要がある</li> <li>・まだ始まったばかりの事業なので、改善して継続してほしい</li> </ul>			
		A : 6人	B : 2人	C : 0人	D : 0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加募集にあたり、チラシを配布するだけでなく、各事業所に対して積極的に参加を募るべき。</li> <li>・働く女性は、仕事と家事・育児に多忙なので、このような事業に参加するという時間もないのではないかと思う。</li> <li>・コロナの影響で計画していた事業ができなかったということもあるが、まずはチラシを配りましたという形で終わってしまった事業ではないかという印象を受ける。</li> <li>・経営者側に、ある程度具体的なお願いをした方が参加者を集めやすいと思うので、次回からはそのような方法をとってみたいかがか。</li> <li>・女性就業者研修(キャリアカフェ)については、開催日時を休日や夕方にするなど工夫できると思うので検討をお願いします。</li> <li>・事業そのものは非常にいいものなので、継続するべきと思うが、手法を根本的に見直す必要があると思う。</li> </ul>				

《令和2年8月20日(木) 第1回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
2	商工政策課	外国人材活用事業	直営・補助

事務事業の概要	事業内容	外国人技能実習生に対する生活支援としての交流会並びに受入れ先企業に対する情報交換会及びセミナーの開催、ベトナム社会主義共和国視察支援
	事業の対象	外国人技能実習生、市内企業、市民
	活動内容	①技能実習生同士または、市民を交えた交流事業を年3回開催。 ②受入企業または受入れを検討している企業を対象に、情報交換会等を開催。 ③にかほ市工業振興会による技能実習生送出機関の視察に補助。
	目的・成果	交流事業等を通して企業の受入れ体制を側面から支援することで、技能実習生の雇用や生活環境の充実に繋げるとともに、制度や受入れの実情について企業や市民の理解を深め、ひいては企業の人材確保や競争力強化に繋げる。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生のマナー向上のための事業も実施すべき</li> <li>・市民との交流、市を知ってもらうための事業は非常によい</li> <li>・コロナ禍の経済状況により技能実習生が困らないようフォローが必要</li> </ul>			
		A : 8人	B : 0人	C : 0人	D : 0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能実習生の生活マナーが悪いという苦情がある。(事業所は)受け入れた以上は生活マナーも教えることが教育の一環として必要ではないかと思う。</li> <li>・衣食住や語学教育、習慣などの教育が必要だと思うので、そのような教育プログラムを作って、実習生全員に学ぶ機会をつくっていただきたい。</li> <li>・技能実習生が粗末に扱われないかというところもしっかりフォローしてもらいたい。</li> <li>・せっかくなにかほ市に来ていただいたので、市民に理解してもらい、打ち解けるように、また、帰国する際には、にかほ市はいいところだったと思うだけのようにフォローしてもらえればと思う。</li> <li>・(技能実習生の)コミュニケーションの大部分は、きっと会社の方たちが一番接していると思うので、受入側の意見を聞くことも必要だと思う。</li> <li>・縁があってにかほ市に来てくれたと思うので、少しでもにかほ市を知ってほしいと思う。</li> <li>・市民と技能実習生との交流がとれていると分かったので安心した。</li> <li>・外国人コミュニティを支援する事業もいいのではないか。</li> <li>・今後、コロナの影響で経済が悪化した場合、技能実習生がこのまま働けるのかという懸念がある。</li> </ul>				

《令和2年8月26日(水) 第2回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
3	防災課	社会資本整備総合交付金 (住宅・建築物安全ストック形成事業)	補助

事務事業の概要	事業内容	昭和56年5月31日以前の耐震基準により建築された集会施設を対象に平成21～23年に行った集会施設の耐震診断結果をもとに集会施設の耐震設計等及び耐震改修に係る経費に対する補助金の交付。
	事業の対象	自治会に対し集会施設の耐震設計等及び耐震改修に係る経費の補助を行う。
	活動内容	行政懇談会等の各自治会関係者が集まる場にて、事業の周知を行っている。
	目的・成果	避難所に指定されている自治会館を、地震による倒壊から防ぎ、避難者の安全を図る。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会館は避難所のみならず、地域住民が集う場所として重要であるため、事業を継続してほしい</li> <li>自治会の予算の都合もあるが、耐震改修がきちんと行われるよう、行政の積極的な関与も必要</li> </ul>			
		A : 8人	B : 0人	C : 0人	D : 0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会所有の会館のみに限らず、対象を緩和することも考えてほしい。</li> <li>自治会館は避難所としてのみならず、地域住民のコミュニティの場として、安全安心で楽しく集える場であってほしい。</li> <li>自然災害が増えてきている中で、耐震診断や改修はこれからも必要になってくると思うので、この事業は継続してもらいたい。</li> <li>規模の小さい自治会では予算も小さいと思うので、そういったところへの手当てもお願いしたい。</li> <li>会館にはその地域の歴史が掲げられている。自治会にとって非常に大切な場所なので、耐震改修をきちんと行って、住民の方々に利用してもらおうというのは必要不可欠だと思う。</li> <li>長期に渡る事業だが、のんびり傍観するのではなく、自治会に対して勧告するなど積極的に関わっていくべき。</li> <li>耐震未改修の会館がすべて終わることを期待する。</li> </ul>				

《令和2年8月26日(水) 第2回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
4	まちづくり推進課	生活バス路線運行費補助金	直営

事務事業の概要	事業内容	羽後交通がにかほ市と由利本荘市間などを運行している路線バスの事業者赤字欠損額に対する補助。 秋田県の審査を経て補助交付額が決定される。
	事業の対象	羽後交通の運行路線バス：本荘象潟線（地域間幹線路線）、小砂川線
	活動内容	本荘象潟線：本荘営業所～本荘駅（由利組合病院）～西目～仁賀保～金浦～ねむの丘～象潟駅 小砂川線：三崎公園前～大砂川～象潟中学校前～象潟駅（～仁賀保高校前）
	目的・成果	自らの移動手段を持たない市民（交通弱者）の通勤や通学、通院、買い物等の移動手段として、学生から高齢者までの幅広い市民の生活を維持・向上させるための『足』となっている。

評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財源からの拠出が大きく費用対効果が薄い、バス利用者がある限りなくすことができない事業である</li> <li>・少しでも収益が改善するよう、最大限の工夫をこらしてほしい</li> </ul>			
		A：3人	B：5人	C：0人	D：0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから利用が増えるということはほとんどないと思うが、それでも継続しなければならない事業だと思う。利用しやすい運賃を考えることも今後必要なのではないか。</li> <li>・このようなケースでは、費用対効果は考えてはならないのかもしれない。これは行政サービスの一環なのだと思う。しかしながら、（一般財源から拠出している補助金）3,000万円をどのようにして少なくするかという努力はしなければならない。羽後交通と行政と一緒に、収支を改善するプロジェクトをつくって、徹底的に議論すれば案が出てくるのではないか。</li> <li>・このままでダメだということは明確だが、ではどのようにしたらよいかという案はなかなか出てこない。</li> <li>・一般財源の3,000万円は大きい金額だと思うが、バスを利用しなければならない人もいるということを考えなければならない。</li> <li>・この事業はなくすわけにはいかない事業。</li> </ul>				

《令和2年9月2日(水) 第3回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
5	健康推進課	利用者支援事業(母子保健型)	直営

事務事業の概要	事業内容	妊娠前からの相談事業から始まり、妊娠期から子育て期にわたる妊娠・出産・育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師・助産師等の専門職が総合的相談支援を実施し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う
	事業の対象	にかほ市に在住しており、妊娠を希望する者、妊婦、産婦、及び乳幼児とその保護者、家族
	活動内容	母子健康手帳交付時の全員面談を始め、産前・産後の様々な支援事業の実施、助産師による母乳育児相談や臨床心理士による子育て相談の実施。
	目的・成果	妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施することで、保護者の子育ての孤立化を防ぎ、育児不安を軽減し、誰もが安心して妊娠・出産・育児をすることができる。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化の中、非常に意義のある事業である</li> <li>・ 妊婦、子育て世代に安心感を与えている</li> <li>・ 変化に対応しつつ、今後も継続してもらいたい</li> </ul>			
		A : 8人	B : 0人	C : 0人	D : 0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが少ない中で、この事業は非常に意義のある事業だと思う。</li> <li>・ 仕事をしている妊婦さんも多い中で、妊娠期のからだづくりを学べて、安心して出産できると思うので、ぜひ継続してもらいたい。</li> <li>・ 子育てカレンダーについて、自分も一児の母として、ほとんど全部経験させてもらい、非常に助かりありがたかった。これからも事業を継承してってもらいたい。</li> <li>・ 臨床心理などの専門家もいて、とても安心できる環境だと思う。</li> <li>・ 若い人の安心につながると思うので、ずっと継続してってもらいたい。</li> <li>・ これから在宅ワークやテレワークなど、世の中が変化していくと思われ、子育てのあり方も変化し、(在宅で)仕事をしながら子育てもするという時代が来るかもしれない。そのような変化にも対応して事業を進めてもらいたい。</li> <li>・ 由利本荘市よりも先行してこの事業に着手したということは評価できる。</li> </ul>				

《令和2年9月2日(水) 第3回委員会》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
6	子育て支援課	にこにこ子育て応援事業	直営

事務事業の概要	事業内容	新たに出生した児童に係る経費について助成する。 助成率：10割（上限1万円/人）
	事業の対象	平成31年4月1日以降に新たに出生した児童の保護者
	活動内容	子育てに係る費用なら物品の購入やサービスの利用等何にでも対応する。保護者の請求に基づき領収書やレシート等で支出の確認をする。
	目的・成果	子育て世帯の負担軽減及び少子化対策を図る。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代にとって大変ありがたい事業である</li> <li>・第1子は費用がかさむため金額を増額してもよいのでは</li> <li>・財源が許す限り続けていただきたい</li> </ul>			
		A：8人	B：0人	C：0人	D：0人
評価委員からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1万円を1回というのは少ないと思う。もう少しインパクトのある助成をしてもいいと思う。</li> <li>・子育て世代には1万円といえどもありがたい事業だと思うので継続してもらいたい。</li> <li>・財源があるようでしたらもう少し金額をあげていただきたい。第1子の場合第2子以降に比べお金がかかる。すこやか子だから祝金は第1子は対象外なので、第1子だけ増額するなど考えていただきたい。</li> <li>・多くの方が1万円前後の買い物をしているということもあり、妥当かと思う。</li> <li>・第1子は多くの費用がかかるので足りないと思うが、第1子からもらえることはうれしいこと。続けてもらいたい。</li> <li>・このような応援はありがたいと思う。今後も継続してもらいたい。</li> </ul>				